

### 中学校区の特徴

- ・本グループは小学校2校、中学校1校で小学校2校の学区と中学校の学区は一致している。
- ・旭丘中と旭丘小は隣接、小竹小とは徒歩15分程度離れている。

### 目指す児童・生徒像

- ・研究主題「子供たちの豊かな学びを広げる」  
～ 小中一貫教育における  
児童・生徒の主体的な学びを目指して ～
- ・心身ともに健康で、思いやりのある児童・生徒
- ・自主的に学び、考え、実行する児童・生徒
- ・地域社会の一員としての自覚と誇りをもつ児童・生徒

## I 小中一貫教育の推進

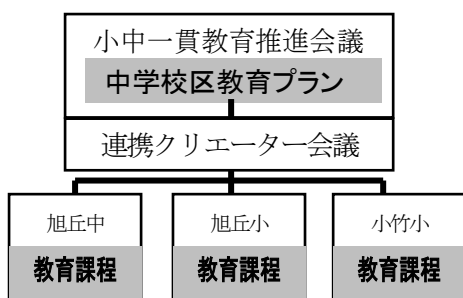
### 1 目指す児童・生徒像の具現化に向けた取組

- (1) 学力・体力の向上
  - ア 3校合同の研究体制
  - イ 児童部活動体験
  - ウ 小小交流会
  - エ 地域、大学との連携
- (2) 豊かな人間性・社会性の育成
  - ア 5年合同移動教室(岩井)
  - イ リトルティーチャー
- (3) 安定した学校生活
  - ア 児童授業見学・学校説明会
  - イ 校区別協議会



(3校合同研究会 中学校1年生 理科)

### 2 教育プラン推進のための推進組織



### 主な予定(年間計画)

5/29	第1回3校合同研究会
6/18	小小交流会
6/21	第2回3校合同研究会 (第1回中学校区別協議会)
6/28	旭丘中部活動体験
7/23	第3回3校合同研究会
9/17	児童授業参観・学校説明会
11/11	第4回3校合同研究会 (第2回中学校区別協議会)
1/9	第5回3校合同研究会

## II 実践校の特色ある取組

### 成果と課題

- (1) 学力・体力の向上
  - ア 3校合同の研究体制と研究授業  
3校の教員を社会科部会、理科部会、英語・外国語部会、道徳部会、特別支援部会の5つの分科会に分けて研究すると共に、社会科部会と理科部会は11月11日(月)に旭丘中学校で研究授業を行った。  
・社会科部会  
ヨーロッパの気候がほぼ同緯度にある札幌よりも温暖であることについて問いをもち、解決する授業を行った。小学校5年生で、雨温図の見方や海流については学習している。小学校で得た知識や身に付

けた技能を生かし、中学校では多数の資料を関連付けたり、短時間でたくさんの事柄を調べたりすることが明らかになった。必要な知識を短時間で理解させるために、ICT 機器を活用することが有効であることも中学校での実践を通して学ぶことができた。

・理科部会

小学校4年生で、温度と体積の変化、温まり方の違い、水の三態変化の学習で、イメージ図を使い、粒子で表すことを学習している。今回、中学校1年生の「物質の状態変化と体積・質量の変化」の単元では、状態変化の際、粒子がどのように運動しているか、粒子の状態をイメージ図に表し、それを元に班員と話し合い、より科学的な見方や考え方を養うことができた。また、これらの話し合い活動は主体的で、対話的であり、深い学びにつなげることができた。

・英語・外国語部会

課題改善カリキュラムの作成に向けて取り組んだ。3校の児童・生徒の実態と課題を洗い出し、話し合うことができた。次年度は中学1年生の教材を小学校の授業に取り入れるなど実践を通して、課題改善カリキュラムを完成させる。

・道徳部会

中学校での教科化に伴い、評価するための記録の取り方や、見取りの仕方など、特に評価についての情報交換ができた。

・特別支援部会

個別指導計画（個別支援シート）の取り扱い、引継ぎについての情報交換ができた。また、書字障害について小中の意見交換、研修をすることができた。

イ 地域、大学との連携

(ア) 図工・美術の授業に日大芸術学部の学生が参加。

- ・中学校の特別支援学級の授業参観（9月24日）から10月にかけて、4回にわたり、大学生と文化発表会に展示する作品を指導を受けながら作成した。
- ・小学校2年生と日大芸術学部の学生との交流授業を行った。

(イ) 「数学勉強会」

旭丘中学校に学力向上プログラム指導員が配置。内容は週に一度放課後に行い、理解が不十分な部分の補充を行っている。指導は学力向上プログラム指導員、地域未来塾学習支援員（地域の大学生）が行い学校支援コーディネーターが調整している。

(ウ)文化発表会への指導（日大芸術学部）

文化発表会前に各学年の展示部門に日大芸術学部の美術科の学生がボランティアで指導を行う。

(エ)合唱コンクールへの指導（日大芸術学部、武蔵野音大）



（3校合同研究会 中学1年生 社会）

合唱コンクール前に、合唱の指導を日大芸術学部と武蔵野音大の学生がボランティアで行う。両大学の学生は小竹の森音楽祭にも参加協力をした。

(2) 豊かな人間性・社会性の育成

ア 5年合同移動教室（岩井）

今年度も、5年生移動教室を合同で行った。事前学習として、小小交流日にレクリエーションの練習を行った。移動教室では「うちわ作り」といった宿舎内活動を合同で行った。

イ 中学生のボランティア活動

旭丘小学校の運動会に中学生がボランティアとして参加した。

(3) 安定した学校生活

児童部活動体験では、両校の6年生が希望する2つの部活動を体験した。また、小学校2校の児童相互の交流の幅を広げるため、小小交流会を行い、全学年の交流学習を6月に行った。他にも、児童授業見学・学校説明会や校区別協議会を通して、児童・生徒の情報を共有し、一人一人の児童・生徒を大事に育てていくと共に、小学校、中学校、それぞれの立場で指導の改善について話し合うことができた。

### III 今後の取組

次年度は、まだ作成していない教科の課題改善カリキュラムの作成、作成してある教科は新指導要領に合わせて、実践と見直しを行う。さらに、3校における児童・生徒の連携事業を見直し、発展させていく。